

# アドバンストセキュリティ および本人確認サービス

顧客のアカウントを継続的に保護しながら  
エクスペリエンスの向上を図る



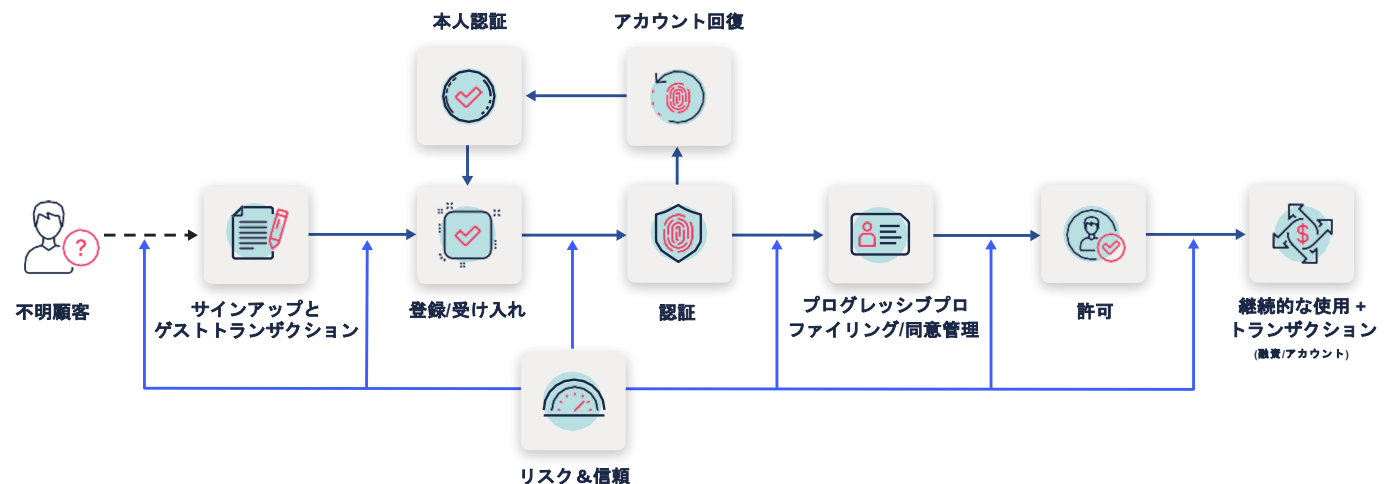
デジタルID詐欺は増加の一途をたどっています。Javelin Researchによるとアカウント乗っ取り（ATO）は90%急増し、悪徳業者のアカウント作成は109%増加しています。<sup>1</sup>

増え続ける高度なツールに簡単にアクセスできるため、ハッカーはもちろん、初心者の詐欺師も、顧客のアカウントを作成したり、乗っ取ったりして、不正取引を行うことができます。また、サイバーセキュリティの人材が不足し続ける中、チームはアイデンティティの侵害、情報漏えい、金銭的損失、ブランドの評判の失墜、顧客の信頼低下といったリスクの増大に直面しています。

## 自信を持って顧客を迎え入れ、悪徳業者を閉め出す。

アカウントの乗っ取りや悪徳業者のアカウント作成を効果的に検知・防止するには、常に最新のインテリジェンス、MLベースのリスク検知、チャネルや顧客接点にまたがる組織的な保証レベルが必要であり、これは複雑です。

Transmit Securityは、ユーザー中心の自動化された保護と本人確認機能を提供し、企業が自信を持って信頼できる顧客を迎え入れ、悪徳業者を排除できるよう支援します。すべてのデジタルインタラクションにおけるリスクを継続的に検出し、対処することで、エンドツーエンドのカスタマージャーニー全体での効果的なアイデンティティと信頼の決定を可能にします。



また、アカウントの回復など、信頼性の向上が必要なカスタマージャーニーのポイントでは、自動化されたドキュメント検証やIDプルーフニングが可能です。

開発者向けのAPIとSDKを備えたクラウドネイティブなサービスにより、オムニチャネルのユーザーとのやりとりをリアルタイムで簡単にシームレスに監視でき、動的リスクエンジンを呼び出すことができます。リスクエンジンでは、リスクの高いユーザーにはチャレンジを与え、高額取引の保証を強化し、ユーザーの信頼を高めます。

組織は、攻撃対象領域を縮小し、不正アクセスを減らすと同時に、信頼できるユーザーに対するフリクションを減らすことができます。

ガートナー社によると、2025年までに、継続的なアダプティブトラストアプローチを採用する組織は、ATOやその他のアイデンティティリスクを30%削減し、プロンプトを20分の1に減らすことで認証UXを向上させるとのことです。

ガートナー、2021年12月 - ID G00745072

## プラグイン可能な高度な検出エンジン

Transmitは、現代のアイデンティティを中心とした脅威から顧客を保護するために、最先端の検出エンジンを提供しています。このエンジンは、MLエンジンによって駆動される複数のヒューリスティックな決定論的ルールとアルゴリズムによって、さまざまな望ましくないアクティビティを識別・分析し、対策を講じることができます。最新の攻撃手法についても継続的にTransmit Security Research Labによって検出エンジンに反映されています。

 <p><b>ボット検出</b></p> <p>クレデンシャルスタッフィング、速度解析、自動化フレームワークの検出</p>	 <p><b>デバイストラスト</b></p> <p>指紋認証、スプーフィング、VM、レピュテーション、セッションハイジャック、デバイスの侵害</p>	 <p><b>ネットワークレピュテーション</b></p> <p>Tor、プロキシ/匿名プロキシ、VPN、タイムゾーンミスマッチ、およびIPレピュテーション</p>	 <p><b>ユーザープロファイリング</b></p> <p>アカウント変更、信頼できるデバイス、ユーザーの共通性、行動分析、生体認証</p>
--	--	--	--

## アイデンティティとアカウントの保護はチームスポーツです

- ・ **継続的な信頼性プロファイリング**：ユーザージャーニーに悪影響を与えることなく、検出・検知を継続できます。デジタル・ユーザーの行程における、あらゆるリスクのある場面において、信頼、許可、課題、拒否というチャンネルをまたがるレコメンデーションを提供します。
- ・ **優れた可視性と透明性**：説明可能なレコメンデーション、およびアイデンティティ分析をすべて一箇所で行うことができます。
- ・ **応用脅威インテリジェンス**：経験豊富なセキュリティ研究者が、ダークウェブ上の最新の脅威、ツール、パターンを継続的に監視し、サービスの有効性と回復力を保持し続けます。
- ・ **IDブルーフィング**：不正防止戦略の統合レイヤーとして、ネイティブドキュメント検証、IDブルーフィング、ライブネスチェックを活用します。
- ・ **統合された適応型認証**：TransmitのCIAMプラットフォームは一元的な認証を提供し、デバイスやチャンネルを問わずユーザーのセッションのリスクスコアを継続的に更新することでインプットを獲得します。
- ・ **リスクベースの認証**：リアルタイムのインテリジェンスにより、各ログインの背後にあるコンテキストの全体像をつかみ、リスク指標に基づいて認証と保証の要件に対処することができます。

**Transmit Securityがユーザーエクスペリエンスを向上させながら、どのように顧客のアカウントを継続的に保護できるかをご覧ください。詳細については、[transmitsecurity.com](https://transmitsecurity.com)をご覧ください。**

## Transmit Securityについて

Transmit Securityは、革新と成長のために、安全で信頼できるエンドツーエンドのデジタルアイデンティティ行程を構築するために企業が必要とする最新のツールを提供します。CXにフォーカスしたサイバーセキュリティを意識した当社のお客様であるリーダー企業は、Transmit SecurityのCIAMプラットフォームを利用して、あらゆるチャンネルやデバイス間における、不正行為から保護された快適なエクスペリエンスを顧客に提供しています。Transmit Securityは、世界最大の銀行、保険会社、小売業者、その他の大手ブランド企業の多くにサービスを提供しており、合計で年間1兆3千億ドル以上の商取引に貢献しています。

詳しくは、[www.transmitsecurity.com](https://www.transmitsecurity.com)をご覧ください。